

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス尾久教室		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 10日		～ 令和6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 10日		～ 令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な内容のトレーニングやイベントを取り入れることで、楽しんで活動に参加してもらえ、利用日数の増加にも繋がっている。	・イベントは、季節に即したものや新しいものを取り入れるなど、毎月工夫を凝らしながら予定を立てている。 ・その日の利用人数やお子様の顔ぶれなどを考慮して、トレーニングやイベントの内容を組み立てている。	何度かやっている内容に関しては常態化してしまっている物もあるので、常に新しい内容ややり方を取り入れていけるよう、職員間で意見を出し合っ決めていけるような場を持つようにしていく。
2	各ご家庭やお子様の状態に寄り添って、柔軟な予定の組み方が出来るような予約方法を取り入れていること。	・様々な連絡方法(メール、FAX、電話など)での予約の仕方を提示させていただき、不便さに対応している。 ・可能な限りの予定変更や当日参加に柔軟に対応できるよう、体制を整えている。	キャンセル待ちなどの状況についての連絡を早めにするこ や、LINEなどのツールを活用する方法を検討していく。
3	経験豊富な職員がお子様の対応に当たることで、安心安全な環境で過ごしてもらえていること。	各職員の適正を踏まえた支援への参画を考慮して、職員の配置を考えている。	今後、職員の人数を増やす予定で、入職時には仕事内容や理念の伝達、研修を徹底して行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々のフィードバックが希薄である。	・面談については、親御さんの来所の負担を考えたり、また親御さんの予定が合わないなど、様々な理由が複合的にある。 ・お迎えがある場合にはその場で伝えることができるが、送迎の無い一人で行き来している子に対しては	・積極的に面談の要望を聞き取り、無理のない予定が組めるよう配慮する。
2	支援内容の組み立てやPDCAサイクルへの職員の参画について、職員間でばらつきが見られる。	・勤務の状況などにより、勤務時間内での会議時間などの確保が難しく、常勤非常勤や個々のスキルなどによって支援への参画状況にばらつきが出ている。	・会議や周知の時間を定期的に持てるよう、事前に計画として組み込む。 ・会議以外でも意見を聞いたり、情報を周知するシステム作りをしていく。
3	地域とのつながりや社会資源の活用ができていない。	・リスク(情報の漏洩、安全管理など)や負担(準備、日程など)を考えて、こちらから積極的に声掛けできていない。	・「広く理解を得る」「いざという時に力になってもらえる」「他者と関わる機会」という考えを職員間に周知する機会を作る。 ・社会資源の活用や地域イベントへの参加など、地域との繋がりが作れるように企画などといった形で積極的に取り入れていく。